

えいよう通信



全国栄養士大会.オンライン!

2022全国栄養士大会：オンラインは8月7日まででしたが、皆様ご覧頂けましたでしょうか？

栄養士会への入会が必要だった為、諦めてしまった方もおられたかと思しますので、少しばかりレポートさせていただきますね。まずはスペシャル対談。中村会長と小泉進次郎氏の対談です。面白かったのは政治家の選挙戦に管理栄養士が期間中の栄養サポートを行う時代が近い将来『あり』かも?!と言うお話。進次郎氏曰く、選挙戦の間中はトップアスリートと同等の活動量で、ハードスケジュールに挑まなくてはならない。栄養サポートを受けながら勝ち抜いていきたいとの事でした。

あ！！栄養補助食品のVクレス誕生秘話と似てるとしてしまいました。

Vクレスは現在のニュートリー株式会社と管理栄養士の金谷節子氏

(元聖隷三方原病院)が25年位前に共同開発しています。

その時、病院で夜勤明けのドクター達にこのVクレスを飲んで頂くと夜勤明けでも絶好調でオペが出来る！！と高評価だったとか。

やはり栄養学はサイエンスに満ちていますね。現在のVクレスシリーズはドリンクタイプ、ゼリータイプがあり主に褥瘡対応として利用されています。オペにも褥瘡にも低栄養にも選挙戦にも勝ち抜かなければ！！



さて次に注目したのは、この方しかいらっしゃいません。

鈴木副会長！！副会長の講演は2つ。いやいや3つ。

1つ目『東京に食のレガシーは残せたのか』

これは昨年開催された東京五輪の食の裏事情をテーマにしています。華々しい表舞台の裏で一般には知る事のない舞台、しかし選手のパフォーマンスを支える舞台。引き込まれましたよ。

もう1つが『家庭の食事の今を知る』こちらのテーマも鈴木節が最高でした。変わりゆく食事情。その変化に合わせて栄養のプロとしてどの様に関わっていくべきなのか…。ピックアップを紐解きながら解説して頂きました。

どちらもとても面白く拝聴させて頂きました。副会長は神奈川県立保健福祉大学にて研究と栄養教諭、そして栄養士会の仕事と、更には公認スポーツ栄養士としてもパワフルに活動されています。そうそう3つ目は『腸内環境からみた食物繊維の重要性』を共同演者としてお話されています。



その他の講演



がん早期から栄養介入した、その実績は？

「がん診療と栄養」

片山寛次 (福井大学/つくし野病院/さくら病院)



サルコペニアを合併したCKDの、食事療法の方法を公開

「慢性腎臓病に対する栄養管理」

佐藤健司 (新潟大学)



最新知見に基づく、認知症予防に資する食生活を説く！

「食生活からの認知症予防」

大塚礼 (国立長寿医療研究センター)



開設秘話や運営の実際を座談で紹介

「栄養ケア・ステーションの現在とこれから、そして未来を考える」



環境負荷軽減の食材選び、食品ロス対応への参考が満載！

「未来につながる持続可能な食事とは」



若年女性に多い、「やせ」願望の本質に迫る！

「ボディイメージと食行動」

岡本百合 (広島大学保健管理センター)

～新型コロナウイルス家庭内感染防止対策～

7月末に実は長女が陽性になりました。私は濃厚接触者のためお休みを頂き、自宅待機。感染者数が多く、3日経過しても保健所から連絡はなかったです。ですので辛い40℃超え3日間を含め10日間自宅療養となりました。

先ず長女の部屋はたまたま2階の奥だったので直ぐに隔離出来ました。その手前は大きな窓のある室内洗濯物干し場で、窓に向かって扇風機を全開にして換気しました。運よく隣に手洗い場があり手指消毒ができ、ここを境目として何とかゾーニング？出来たかなと思います。(苦笑)長女の部屋に入る時はサージカルマスクを2重。手袋は初日のみ。キッチン用だったので意味ないなーと思い途中でやめました。その代わり消毒を念入りに。長女は高熱で辛いだろうと思いつつもこの部屋も対角に窓を開けて換気しました。まともな食事はほとんど摂れなかったのですが、水分補給と内服のためのコップは紙コップを使用しました。完璧ではないですが、この様な事を行ってお陰様で運よく家庭内での感染を防ぐ事が出来ました。

酷暑の夏、感染した本人への身体へのダメージはとても大きいです。体力も精神力も奪われてしまっています。

皆さま、今後もコロナにも熱中症にもどうぞご注意ください。

小林